



こんにちは くらた共子です

日本共産党
市会議員 活動報告

2022年11月13日 493号 くらた共子事務所 TEL813-2117
http://www.tomoko-kurata.jp/ ツイッターを主に発信しています。

これは改革ではない！障害者施設補助金カットに怒り 京都市行財政改革計画撤回、福祉予算復活に全力！

10月30日 上京演説会 アスニーにて



来春の市会議員選挙に向けて

〇いのち第一を原点にがんばります。

子ども医療費、小学校卒業まで入院も通院も無料とするよう全力でがんばります。市長選挙で、門川市長が公約に掲げざるを得ないところまで追い込んできました。コロナ禍で子育て世帯の暮らしが厳しい今、これ以上待たせられません。さらに全員の制中学校給食は粘り強い運動で京都市を追い込んでいきます。請願の紹介議員としてがんばってきた私に、この仕事をやらせてください。

〇住み続けられる上京、京都のまちづくりを進めます。

上七軒ホテル（仮称）をはじめ、区内各地で住民のみなさんと運動にとりくみ、ゲストハウスなどの進出を止め、建築協定を支援してきました。ところが京都市は住民を追い出すまち壊しを反省せず、さらに海外などの資本を呼び込み、どこでもホテルが建てられるよう規制を緩和しようとしています。その延長上に二条城北のシャングリ・ラホテルや相国寺北門のホテル計画があります。住民が安心して暮らせるまちづくりであってこそ観光客にも魅力的なまちを形成することができます。住んでよし、訪れてよしの観光政策を実現します。

〇民主主義を貫き、「統一協会」問題で徹底追及します。

わたしは、「統一協会」問題を京都市会で真っ先に取り上げ追及してきました。住民のための市政を実現するために、政治家や行政が反社会的カルト集団と癒着してはなりません。「統一協会」の解散と被害者の救済を求め全力を尽くします。また令和3年度京都市決算は実質102億円赤字です。市民を脅す市政から公平で公正な市政へ刷新します。

〇他党の議員はどうでしょう。

自民・公明、京都党・維新の会などはいずれも、「小学校のような全員制の中学校給食の実施」を求める請願の採択に反対し、敬老乗車証制度を改悪する条例案には自民・公明が賛成。京都・維新は「負担金10倍を」主張するなど福祉を敵視する姿勢です。「統一協会」問題については一言も質問せず、わたしの質問中に「信教の自由がある」「資料を請求して何に使うのか」等と野次、質問妨害を行う有様です。このような方々に、子どもたちの未来を任せられません。

府会はさこ祐仁さん、市会はいくらた共子へご支援をお願いいたします。

「京都市こころのふれあい交流

サロン」の補助金が大幅減額され3事業所が廃止となるなど、精神に障害をもつ方を地域で支えつづけることができなくなる、と現場の声を伺いました。くらた共子は速やかに補助金を元に戻すよう京都市に求めます。

くらた共子の

みみをすませば

生活保護費引上げを

物価下落を理由に生活保護費を引き下げながら、空前の物価高騰下で引き上げないのは矛盾します。

生活保護受給世帯より先天性の障害を持つ子どもの医療処置に必要な医療衛生材料費が高つく、なんとかならないかと相談が寄せられています。「治療材料」なら医療扶助となるが「衛生材料」は扶助適外のことですがストーマ処置に必要な衛生材料と同様に補助対象とすべきと考えます。まずは自治体独自の支援に踏み切ることを求めたいと思います。